

平成27年度 学力・学習状況調査 各学年の学習状況と今後の取組について

2月に行われた横浜市学力・学習状況調査の成果と今後の取組についてご報告いたします。

○ 学習状況

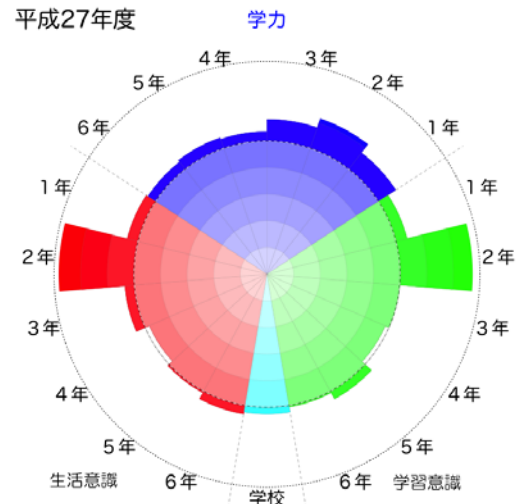
調査項目全般について市平均を上回っており、学習内容は概ね理解していると判断できる。6年生の算数の通過率については、全市平均より2.3ポイント上回っており、国語は3.9ポイント上回っている。なお、学習意識は、どの学年も市平均とほぼ同じ状況で安定している。

○ 今後の取組

各教科とも各観点で市の平均より高い通過率を示しているものの、大切なことを聞き取って自分の考えをもち、それを正確に伝える力、人の考えを受け入れる力を育てていきたい。そのためにも言語活動を充実させ、指導方法を工夫していく必要がある。

○ 生活意識

- ・「普段の学習時間が長い」という回答割合が高い。
- ・学習が「分かりやすい」「楽しい」といった肯定的な回答割合が多い
- ・朝食の摂取率が高いが、高学年は就寝時刻・起床時刻ともに遅い傾向にある。



	学習状況（成果）	今後の取り組み
1年生	国語は2～3ポイント、算数は5ポイント近く、市の平均よりも上回った。国語では、話す聞く能力と言語の正解が多かった。算数では、技能面は身に付いているが、図形に関する知識理解が低かった。図形の知識理解の内容と日常生活との結び付きが薄いと考えられる。	毎日の取組を続けて実施し、基礎基本の定着を図っていく。また、音読カードや読書の時間を有効に利用して読む能力が身に付くようにする。さまざまな図形の形にふれる機会を通し、図形に対する感覚を豊かにさせる。
2年生	全教科、すべての観点で市の平均を上回っている。算数の数学的な考え方で10ポイント上回っている。国語でも5～8ポイント上回っている。言語に対する知識理解、書く能力は特に優れている。	様々な取組により基礎基本が定着し、数学的な考え方が身に付いてきたと考えられる。知識を活用する力もついている。今後も日々の取組を継続し、バランスよく取り入れていきたい。
3年生	各教科とも全観点が市平均を上回っている。国語では書く能力の通過率が特に高い。算数では、知識・理解が市平均を上回った。また、社会の観察・資料活用の技能と理科の知識・理解の通過率が高かった。	算数については市平均を上回っているものの、十分と言える値ではない。筋道を立てて考えを構成する経験を深めていく必要がある。他教科についても授業の内容を吟味し、丁寧な指導をしていく必要がある。
4年生	全教科、ほとんどの観点で市の平均を上回った。算数では、知識・理解、数学的な考え方が優れていた。国語では、書く能力が特に優れていた。学習意欲も向上しており、日々の体験的学習の成果が表れていると考える。	全教科で基礎・基本が定着してきているので、今後は活用する力を高めていきたい。算数の技能が市の平均を少し下回っているため、知識を活用するためにも反復的な活動を取り入れることで、計算力を高めていきたい。
5年生	全体的に、市の正答率の平均を上回っているものが多い。特に得意不得意が分かれやすい算数では、全ての観点において5%程上回っている。学力別・少人数指導の成果であると考えられる。	国語の読む・書く力は10%近く高いが、言語力については課題が見られる。スキル等の時間を使って漢字だけではなく、言語力・語彙力をつける学習を行ってきたい。

※学年は、グラフ、分析とも **昨年度のもの**です。